

科目名		放射線衛生管理学演習	
科目責任者	岡崎 龍史	(放射線衛生管理学 教授)	
担当者	盛武 敬	(放射線衛生管理学 准教授)	
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>放射線衛生等における放射線被曝の歴史と今後東京電力福島原子力発電所事故並びに廃炉作業に携わる従業員の低線量放射線被曝の影響について考えていく上で、机上の演習をおこない、放射線の人体への影響を正しく理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 放射線の種類と性質、線量単位の変換等の計算できる。 2) 放射線の物質との相互作用など基本的作用機序について物理的に考察できる。 3) 放射線の人体の影響について論じることができる。 4) 放射線の障害の歴史及び事例について対策を論じることができる。 5) 放射線防護の基本理念を理解し、具体策を講じることができる。 6) 放射線安全取り扱いについて論じることができる。 7) 放射線管理の具体策について論じることができる。 8) 放射能濃度の計算ができる。 9) 放射線に関する法令をもとに事例に照らし合せて考察する。 			
● 評価方法	討論(40%)・発表(20%)・レポート(40%)等で総合評価する。		
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する。		

● 授業内容

回	内容	担当教員
1・4・7・10・13・ 16・19・22・25・28	セミナーにおいて、放射線の影響全般にわたる幅広く正しい基礎知識を実践的に習得する。	岡崎 盛武
2・5・8・11・14・ 17・20・23・26・29	抄読会で放射線生物学に関する最新の英文原著論文を読んで紹介するとともに問題点を議論する。	岡崎 盛武
3・6・9・12・15・ 18・21・24・27・30	カンファレンスで、大学院生自ら発表・議論を行うことにより、プレゼンテーションおよびディスカッション能力の基礎を身につける。	岡崎 盛武